

## 集会案内

**日曜日**

礼拝 : 2:00pm-2:45pm

**教会住所**

c/o Grace Hills Church  
24521 Moulton Pkwy  
Aliso Viejo, CA 92637  
中庭の小さいチャペル

**地図**



**ホームページ**

[www.irvinenihongokyoikai.org](http://www.irvinenihongokyoikai.org)

**榊原宣行牧師**

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

**杉村宰牧師**

電話 (714)527-1456

Eメール:sugimura1950@gmail.com

◎石川 ■

「粹な街サイプレス」

この一月二十九日(土)のことだ。オレンジ郡教会の教会員、ワッツよしのさんの百才のお誕生日のお祝いがあるというので、お祈りのために出かけた時、彼女の家の前に一台のパトカーが止まっているのを見た。僕は何かトラブルがあったのではないかと一瞬ドキッとしたが、とにかく道路脇に車を止めて、外に出た時だった。歩道を歩いて来た教会員一行に出会った。その一人が「杉村先生、遅かった！」と言うではないか。もしかしたらワッツさんに何かあったのではないかと一瞬不安がよぎった。彼が言うには、「たった今、ワッツさんのお祝いのためにパトカー四台がサイレンを鳴らして通ったばかりなんです」と言うではないか。早速見せてくれたビデオでは、最後尾のパトカーの警官が、「ワッツさん、おめでとう！」と大声で叫んでいる。僕は思った、サイプレス市は粹なことをする。その一台が、僕が最初に見たパトカーだったのだ。

玄関前で車椅子に乗ったワッツさんは、認知症が進んでいたようであったが、二〇一五年暮れにオレンジ郡教会を去って以後も僕を覚えてくれていた。詩篇九一篇16節から「わたしは長寿をもって彼を満ち足らせ、わが救いを彼に示すであらう」を読んで祝福の祈りをした。彼女は絶えず私のために祈ってくれた祈りの器であり、私の教会は、彼女の祈りによって支えられてきたとも言える。

それにしても、一人の市民のためにパトカーを動員してまでもお祝いするというのは、日本では考えられないことだ。そういえば、私がサンフランシスコ教会に居た時に、教会員である一人の消防士が殉職した。葬儀はニューホール近郊の墓地で行われたのだが、数えきれないほど多くの消防車が集まり、上空ではヘリコプターが編隊を組んで飛んでいた。大切な一人の職員の死を心から悼(いた)むロサンゼルス郡の計らいであった。ワッツさんの場合も、サイプレス市民の大切な一人である。僕は、そうした市の心遣いが尚のこと嬉しかった。

神が為さった最も粹な業といえ、十字架で殺された主イエスを死から蘇(よ)せられたことであろう。史上、これほど劇的にダイナミックな出来事はない。この神を信じる者には、最高の計らいである永遠の命が与えられるばかりか、サイレンにもまさる無数の天使たちの大歓声が、あなたを待ち受けているのである。

Rev. Tsukasa Sugimura

### 「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

### 「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。